

ベニンホフはどのような人であったのか

記録が多く残っている人物ではないのでこの問いに正確に答えることはできない。しかし、手元にある少ない文献を読み解くことである程度の推測はできると考える。ここでは、ベニンホフの真の姿にたどり着くため探求活動をしていきたい。

米国時代に、30歳にしてシカゴ大学神学校に入學している。20代の頃に大学は卒業しているが、宣教のためにもう一度学ぶことを選んだ。信仰の道・学問の道において真面目で熱心な姿がうかがえる。その性格は、雑司ヶ谷町の自宅から鶴巻町友愛学舎まで、（時代状況を考えておそらく徒歩で）朝の祈祷会や夜のバイブルクラスに熱心に通っていたところに表れている。大隈重信をはじめとする多くの早稲田大学関係者からの信頼を受けていた理由のひとつであろう。

ベニンホフは自分のことを“ダルマ”と称しており、おそらく大きく豊かな体つきであったのだろう。舎生を自宅に招いて当時はまだ珍しかった西洋料理を振る舞ったり、月に1、2回“暴食会”を開いたり、若い男子学生に負けにくいぐらいの食欲があったに違いない――

当時の奉仕園は英会話学校を開いていた。その初級コースを教えていたのがベニンホフであり、当時参加していた舎生は「楽しかった」と話す。奉仕園の運営の深く関わっていたのはそうではあるが、実務的な仕事は少し苦手で主事の向谷容堂に任せていたらしい――

1935年、日本の対米感情が悪化しているなか、ベニンホフが置かれた立場は厳しすぎた。新宿駅東口の繁華街でベニンホフは、中古レコードを購入した。しかし、ケアレスなベニンホフは、会計していないレコードをいっしょにしまい店外に持ち出してしまった。万引き犯に疑われたことが新聞に取り上げられ、早稲田大学講師の職を追われることになった――

いくつかのエピソードから考えると、真面目だがどこか抜けたところがある姿、舎生や関係者から慕われていることから、コミュニケーションをとるのが上手な姿がうかがえる。こうした『人間味あふれる』人物像が浮かび上がってきた。『早稲田奉仕園百年史』で斉藤善久は、ベニンホフの信仰観を「神に仕えるということよりは、人に奉仕すること」と記している。ベニンホフは、これを徹底するなかで、奉仕園に集った人との関わり・交わりを大切にしていたのだと思う。時には、このような姿勢が“信仰的”ではないと批判を受けながらも、奉仕園の門を誰にでも広くし奉仕園のメンバーとなった人に、すぐに入信を求めなかった。「自分が大切に思うものを大切にする」。このような、ベニンホフの人間味あふれる姿・強い信念をもつ姿を知り、それに共感した人たちが、ベニンホフそして奉仕園に集ったのではなかろうか。

年表

< 友愛学舎の移動 >

1908.11
友愛学舎、鶴巻町に創立

1911.4
弁天町へ転居
（map②のミニ情報☆）

1911.10
弁天町友愛学舎落成

1922.1
スコットホール落成
1922.11
現奉仕園敷地内に協愛学舎

1925.6
協愛学舎を友愛学舎
と改称、併合

1934
弁天町友愛の土地・建物を売却

1943.3
戦時下、諏訪町に移転

< ベニンホフ住居遍歴 >

1907.9-1908.2

外国人居留地
（築地30番地）

1908.2-1910.4
雑司ヶ谷町110番の1

1910.4-1912.秋
市ヶ谷東京学院内

1912.秋-1926.5
弁天町友愛
隣の宣教師館

1926.5-1941.3
現奉仕園内の宣教師館
（現存しない）

1941.3
帰国

ベニンホフと奉仕園の足跡を辿って2023

YOU-I
and
Beninghoff

with Special Sites

The Purpose of this Tour

ベニンホフの歴史をたどることによって、友愛学舎の歴史についての理解を深め、見聞を広げる。そして友愛学舎の創立精神をOB・OGの方々と共に、学び共有しあうことを通して、現友愛学舎生間との深い交流の時を持つ

Today's Tour GUIDE

MAP

④ 諏訪町

1943-1949

国内情勢の悪化からか、礼拝に来るキリスト者は減り、キリスト教への関心が低い舎生も少なくなかった。そんな中、新設された早大理工学部石油科の校舎として使われるという理由から、奉仕園は諏訪町の個人宅に移転される事になった。

④

① 鶴巻町

1908-1911

YMCA寄宿舎廃止に対する学生たちの反対により、早稲田奉仕園の基となる友愛学舎が創立される。舎監がベニンホフで、舎生は元YMCA寄宿舎舎生や3Lクラブ会員の早稲田生中心の構成であった。



①

② 弁天町

1911-1924

木造2階建の宣教師館とともに木造3階建の友愛学舎が完成。関東大震災による被害や大隈重信の死去などがあったが、早大YMCAの本部が友愛学舎に置かれ、奉仕園信交協会（後の早稲田教会）が創立されるなど友愛学舎の発展が見られる期間である。

②

③&⑤ 西早稲田

1921-1943、1949-現在

1922年 現敷地内に、J.E.スコット夫人の寄付によりスコットホールが、エドマンズ夫人などの寄付により協愛学舎（アルバ・ホビー・メモリアル・ホステル）が完成。奉仕園の活動の中心が弁天町から戸塚に移り、「早稲田奉仕園」として現在の礎を固める。

③&⑤



ROUTE
築地外国人居留地（築地30番地）

↓
雑司ヶ谷町ベニンホフ旧住居

↓
大隈庭園

①：旧鶴巻町友愛学舎（千代田新館）

↓
東京学院
（ロウ・ヴェール市ヶ谷左内坂）

②：旧弁天町友愛学舎
（神経研究所附属晴和病院）

↓
④：旧諏訪町友愛学舎
（アトラス諏訪町レジデンス）

ミニ情報 当時の友愛舎生は建物完成を待ちきれず転居。

